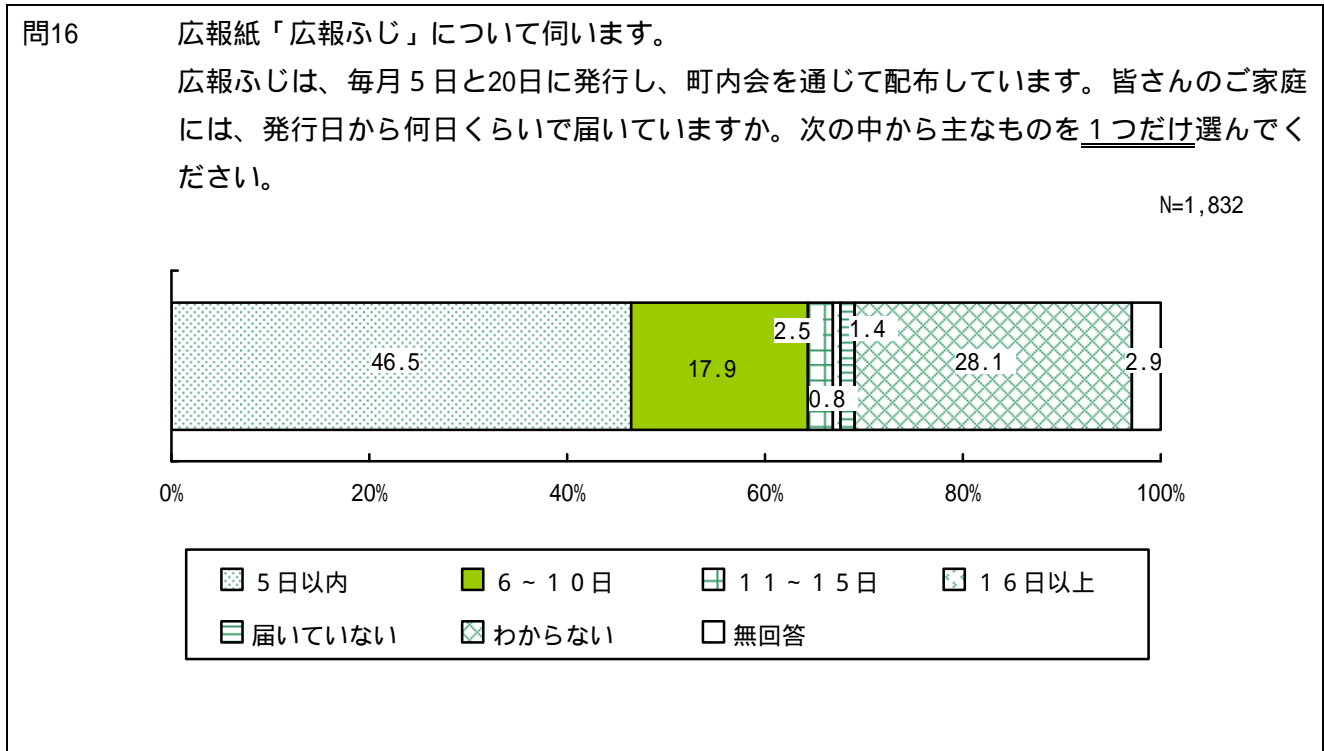


「広報について」

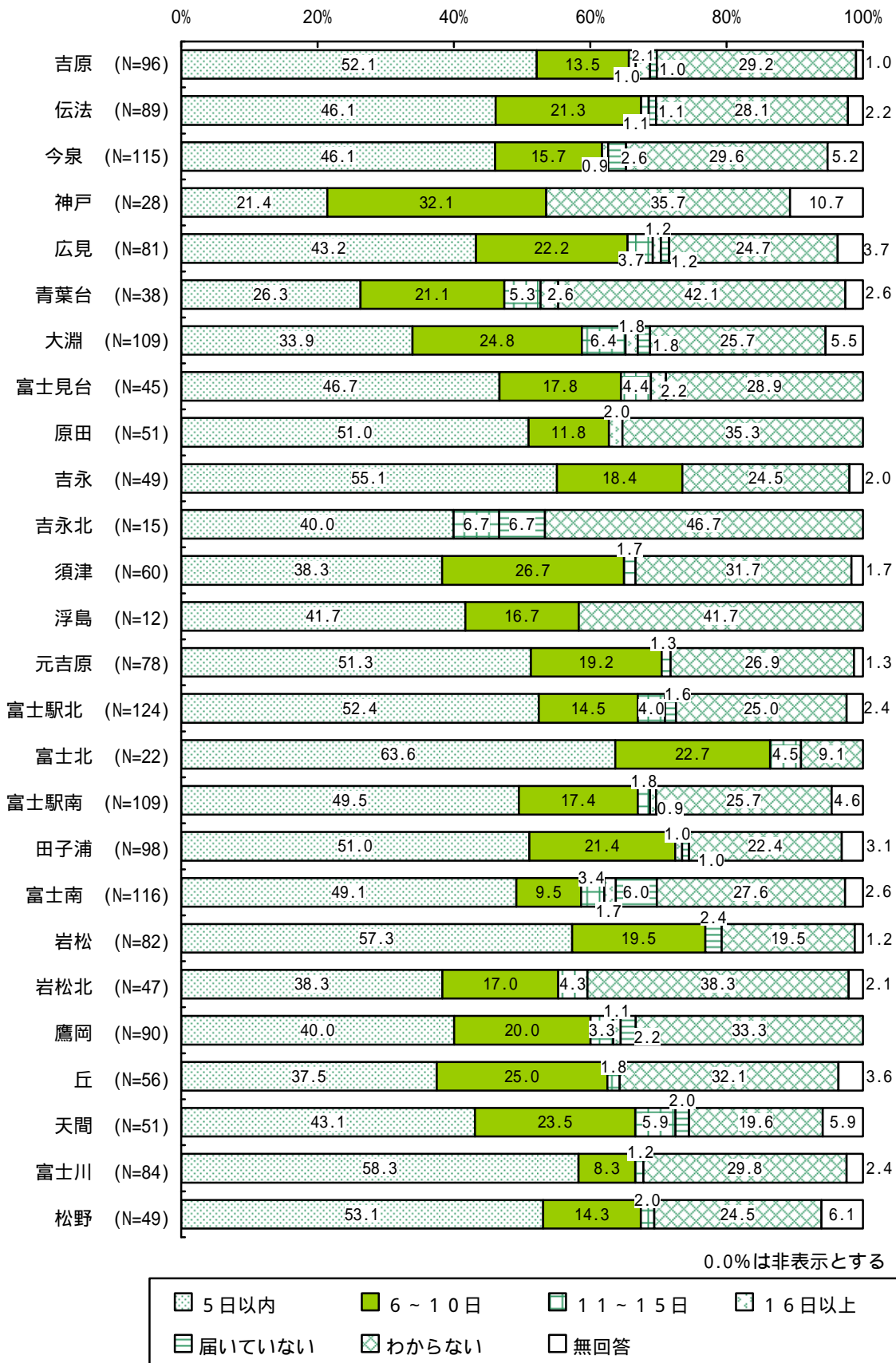
(1) 「広報ふじ」が発行日から家庭に届くまでの日数



「広報ふじ」が発行日から家庭に届くまでの日数を尋ねたところ、「5日以内」と答えた人が最も多く、46.5%となっている。次いで「わからない」が28.1%、「6～10日」が17.9%となっている。

居住地区別に見ると、「5日以内」と答えた人は、富士北で63.6%、富士川で58.3%、岩松で57.3%となっている。「6～10日」と答えた人は、浮島で41.7%となっており、他の地区では2割強～4割弱となっているのに対し高くなっている。

【居住地区別】

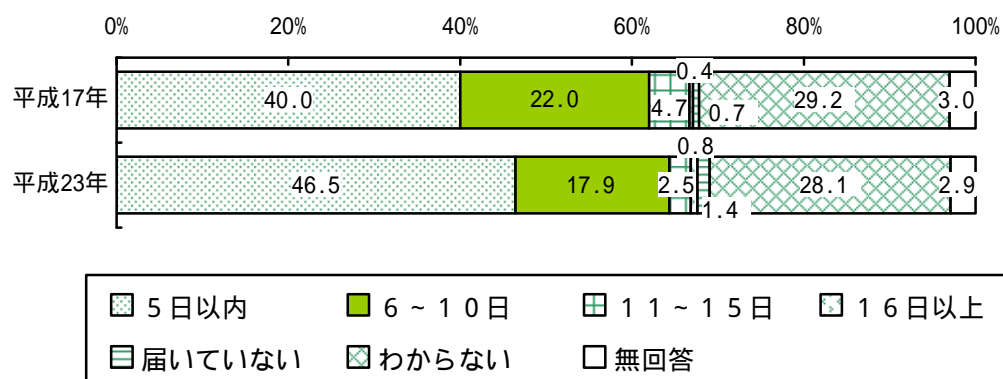


< 調査結果の経年比較 >

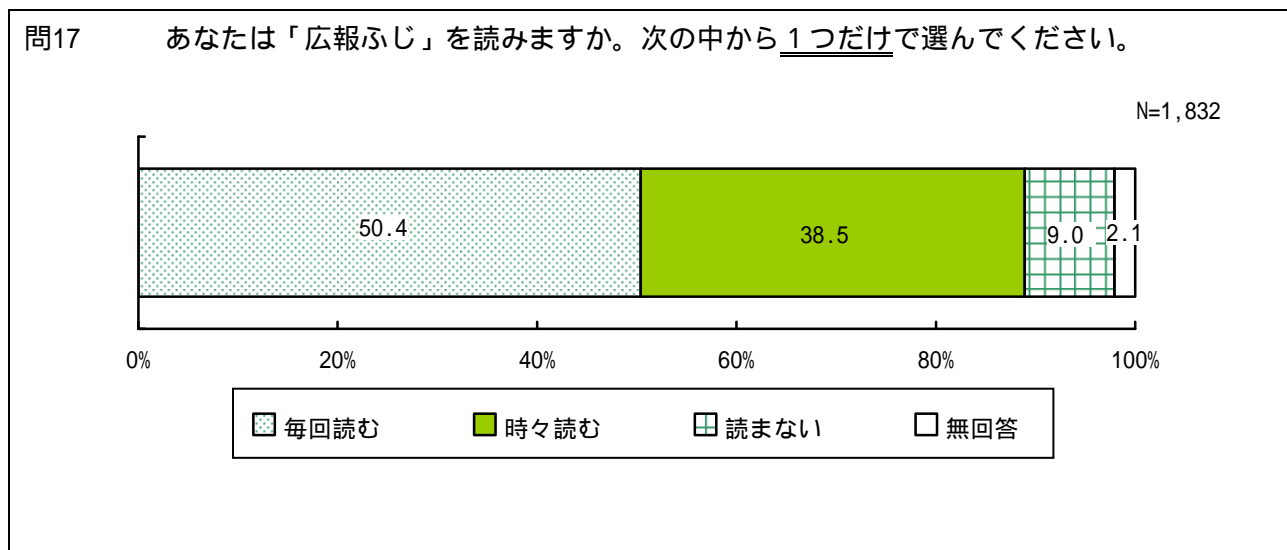
平成17年の調査結果と比較すると、「5日以内」と答えた人は40.0%から46.5%と、6.5%増加している。一方、「6～10日」は22.0%から17.9%と、4.1%減少している。

単位：%

調査年	調査数（人）	5日以内	6～10日	11～15日	16日以上	届いていない	わからない	無回答
昭和53年	837	28.6	33.6	9.0	2.9	1.0	22.5	2.4
平成5年	1,984	34.7	31.5	5.5	1.8	1.3	24.4	0.8
11年	1,752	32.1	28.1	4.5	1.0	29.8	1.3	3.3
17年	1,622	40.0	22.0	4.7	0.4	0.7	29.2	3.0
23年	1,832	46.5	17.9	2.5	0.8	1.4	28.1	2.9



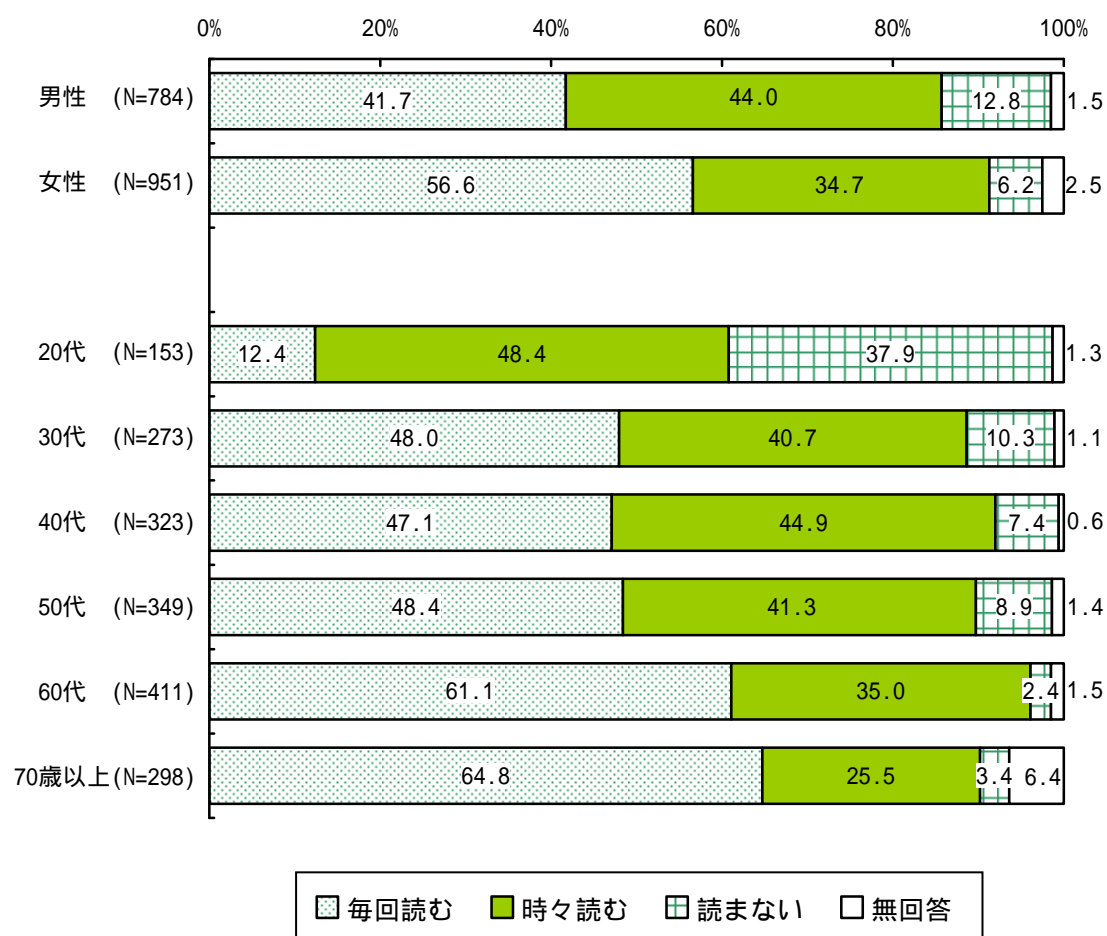
(2) 「広報ふじ」の閲読状況



「広報ふじ」を読んでいるかを尋ねたところ、「毎回読む」と答えた人が最も多く、50.4%となっており、半数を占めている。次いで「時々読む」が38.5%となっており、「毎回読む」と「時々読む」を合わせた“読む”は88.9%で9割弱を占めている。一方、「読まない」は9.0%となっており、1割に満たない。

年代別に見ると、「毎回読む」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で64.8%となっており、30代～70歳以上で5割弱～6割強となっているが、20代では12.4%と目立って低くなっている。「読まない」と答えた人は、20代で37.9%と3割を超えているが、30代は1割程度、40代～70歳以上は1割に満たない。

【性別・年代別】



IV 調査結果

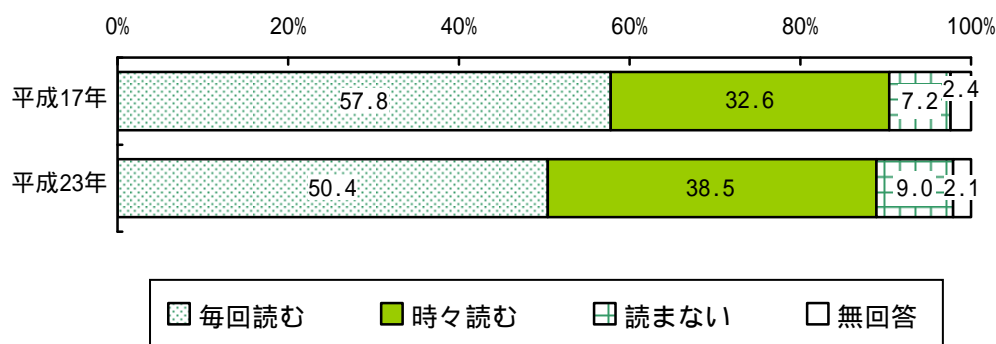
< 調査結果の経年比較 >

平成17年の調査結果と比較すると、「時々読む」は32.6%から38.5%と、5.9%増加している。一方、「毎回読む」は57.8%から50.4%と、7.4%減少している。また、「毎回読む」と「時々読む」を合わせた数値は、90.4%から88.9%と若干減少している。

単位：%

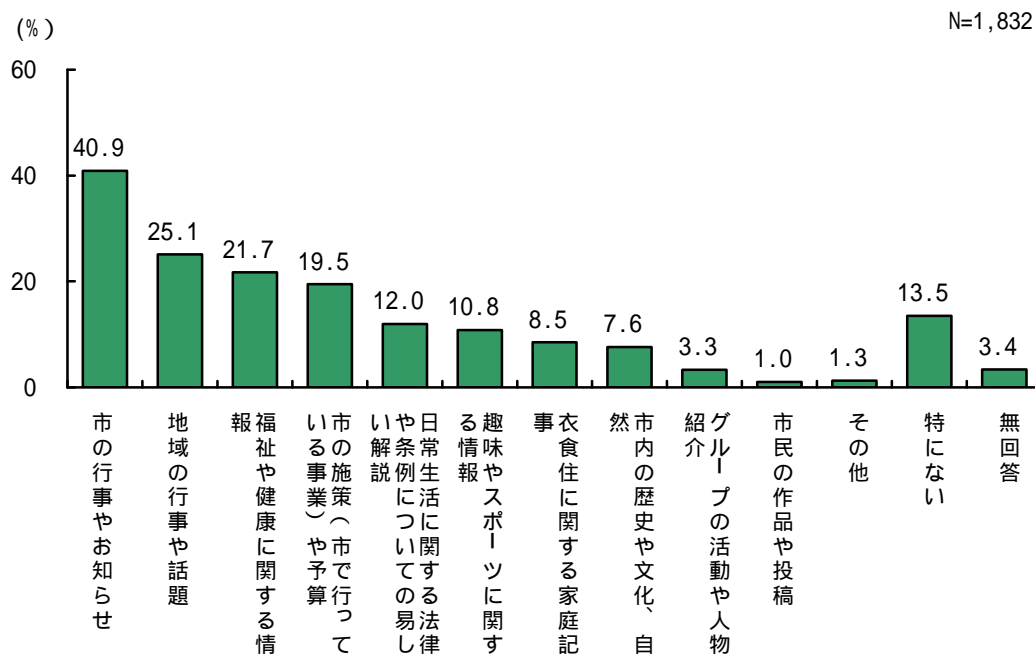
調査年	調査数 (人)	毎回読む	時々読む	読まない	無回答
平成5年	1,984	34.1	61.4	4.3	0.3
17年	1,622	57.8	32.6	7.2	2.4
23年	1,832	50.4	38.5	9.0	2.1

回答選択肢が、平成5年は「いつも読んでいる」「大体読んでいる」「たまに読むことがある」「読んでいない」の4つであるため、「大体読んでいる」「たまに読むことがある」の合計を「時々読む」に表示。



(3) 「広報ふじ」で知りたいこと・取り上げてほしいこと

問18 あなたが、今後「広報ふじ」で特に知りたいと思うことや、取り上げてほしいと思うことは何ですか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。(M.A.)

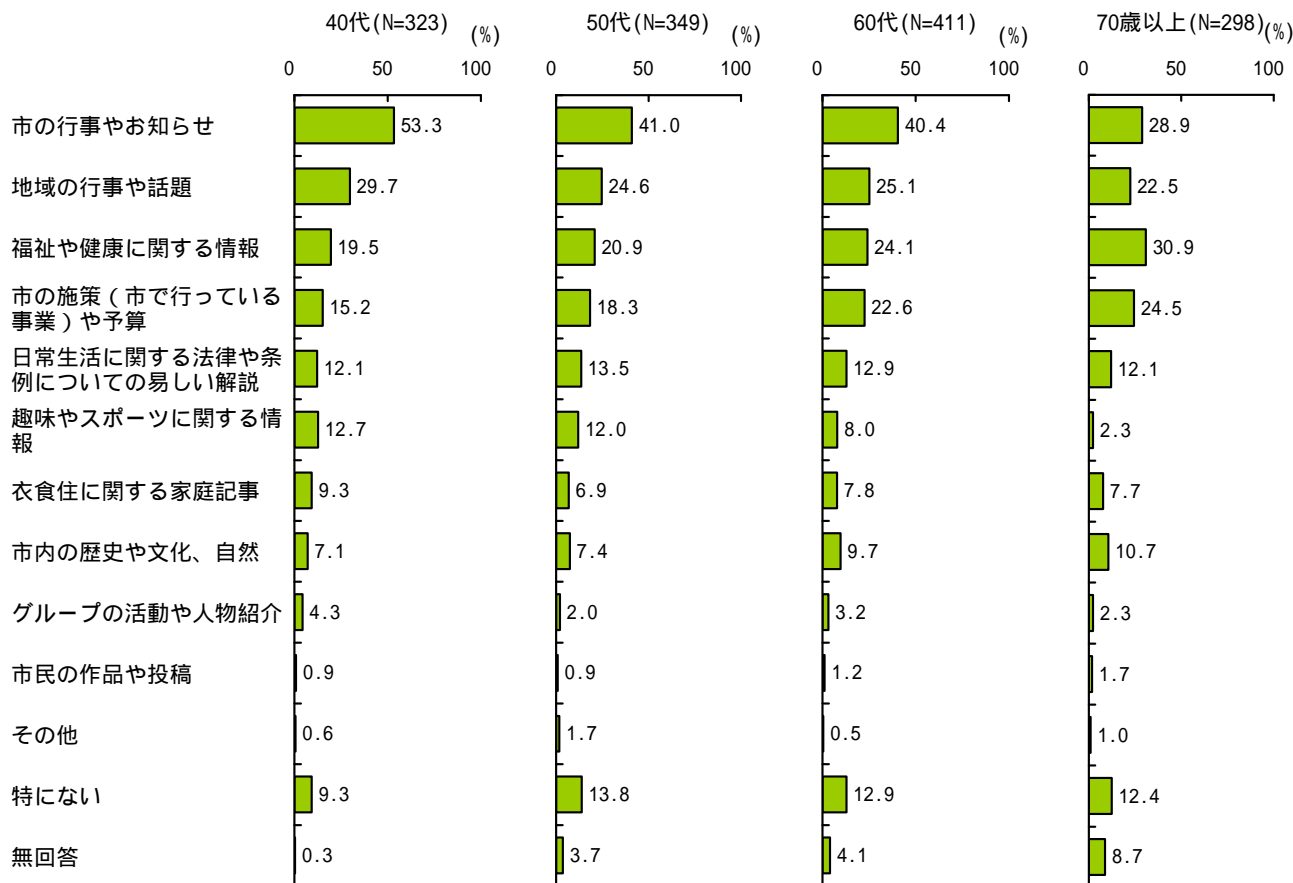
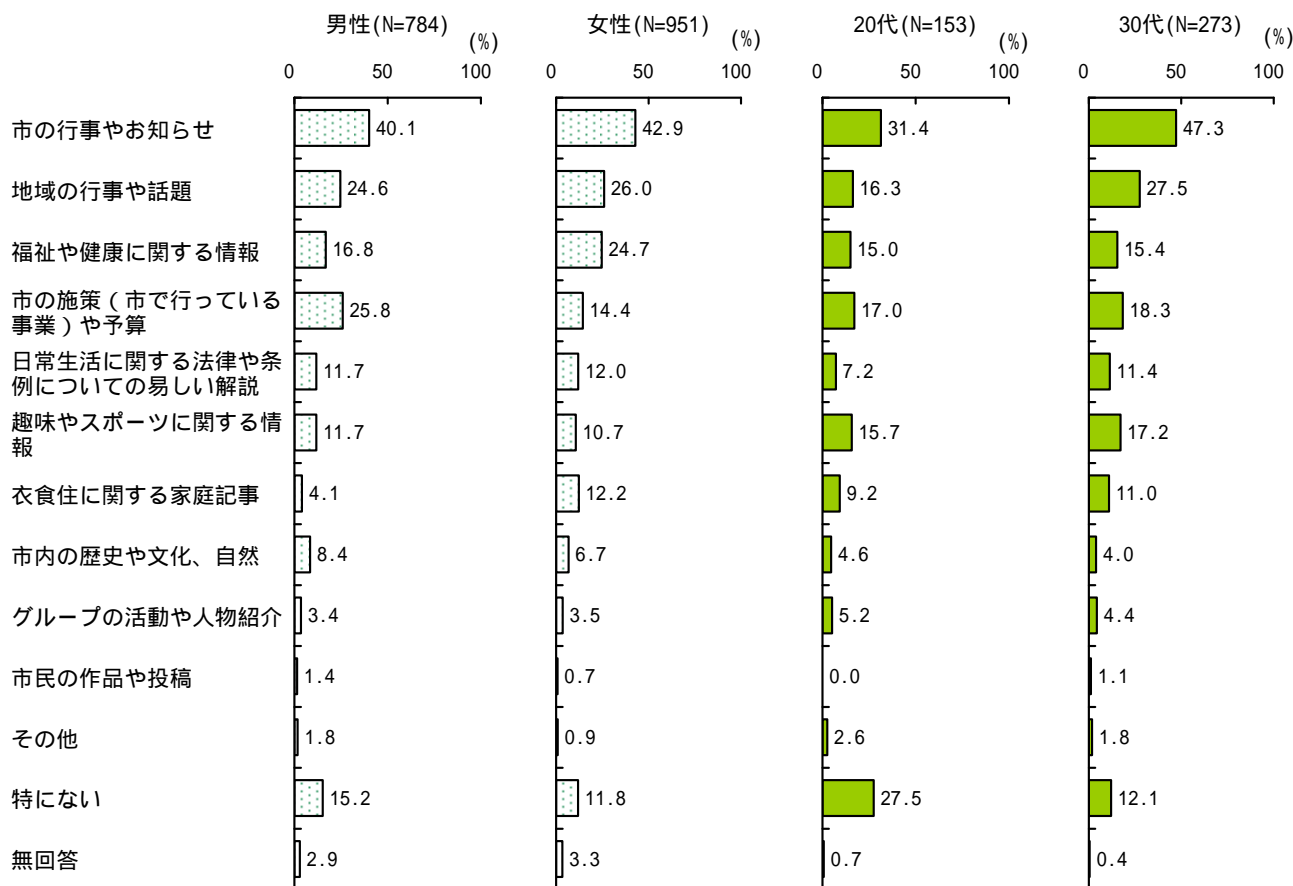


今後「広報ふじ」で特に知りたいことや取り上げてほしいことを尋ねたところ、「市の行事やお知らせ」と答えた人が最も多く、40.9%と4割を超えている。次いで「地域の行事や話題」が25.1%、「福祉や健康に関する情報」が21.7%となっている。

性別に見ると、「市の施策(市で行っている事業)や予算」と答えた人は、男性で25.8%となっており、女性より11.4ポイント高くなっている。一方、「衣食住に関する家庭記事」と答えた人は、女性で12.2%となっており、男性より8.1ポイント高くなっている。

年代別に見ると、「市の行事やお知らせ」と答えた人が最も多いのは、40代で53.3%と半数を超えている。一方、20代は31.4%、70歳以上は28.9%と3割程度にとどまっている。

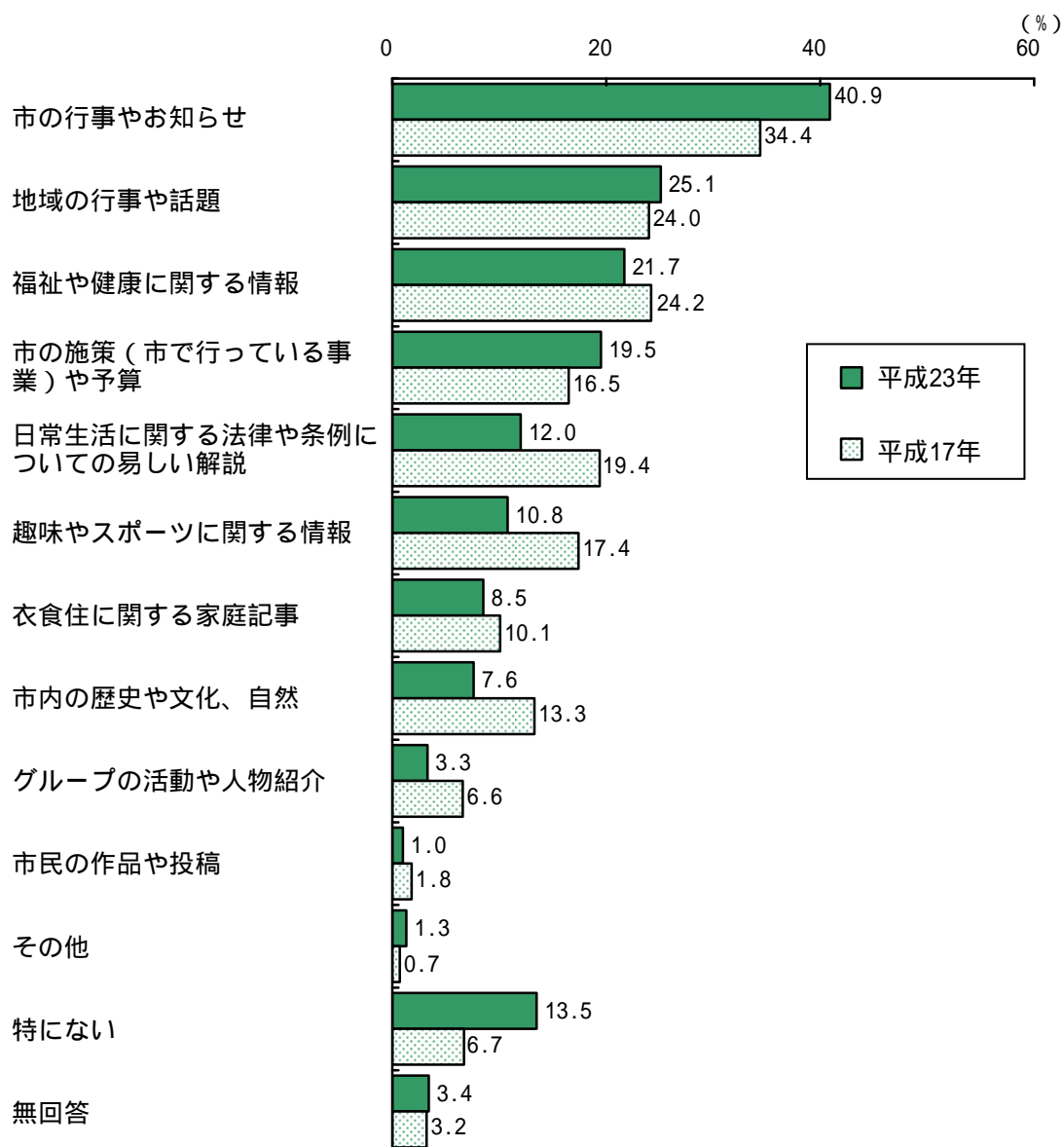
【性別・年代別】



< 調査結果の経年比較 >

平成17年の調査結果と比較すると、「市の行事やお知らせ」は34.4%から40.9%と、6.5%増加している。一方、「日常生活に関する法律や条例についての易しい解説」は19.4%から12.0%と、7.4%減少している。

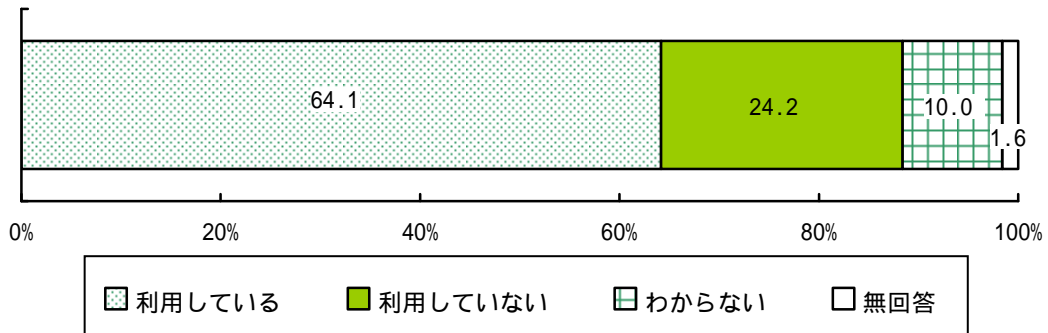
多い項目	平成23年	平成17年
①市の行事やお知らせ	40.9%	34.4%
②地域の行事や話題	25.1%	24.0%
③福祉や健康に関する情報	21.7%	24.2%
④市の施策(市で行っている事業) や予算	19.5%	16.5%
⑤日常生活に関する法律や条例についての易しい解説	12.0%	19.4%
⑥趣味やスポーツに関する情報	10.8%	17.4%



(4) 「市民暮らしのカレンダー」の利用状況

問19 毎年12月に、「市民暮らしのカレンダー」を各家庭へ配布しています。あなたの家庭では、「市民暮らしのカレンダー」を利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。

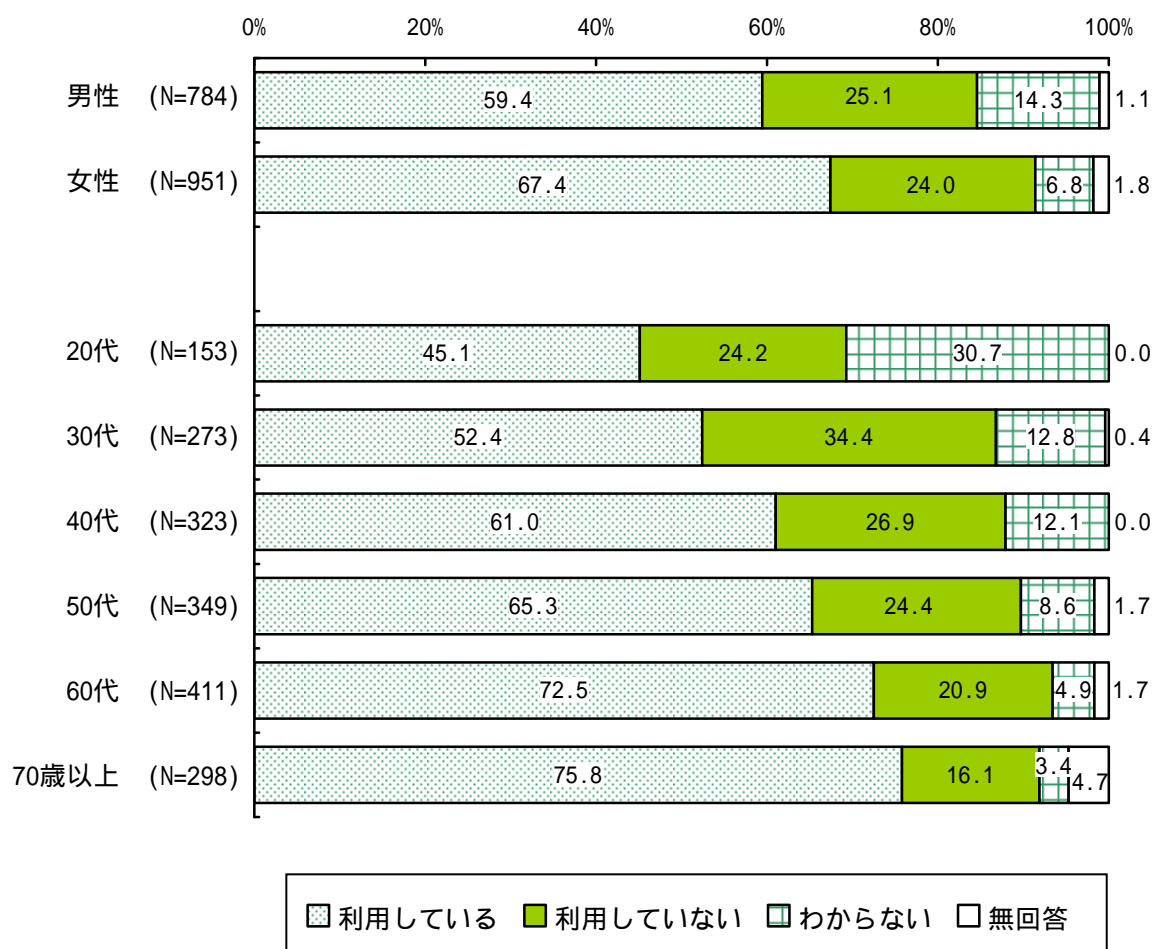
N=1,832



毎年12月に配布している「市民暮らしのカレンダー」を利用しているかを尋ねたところ、「利用している」と答えた人は、64.1%と6割を超えている。「利用していない」は24.2%となっている。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて「利用している」と答えた人が多くなり、20代（45.1%）と70歳以上（75.8%）の差は30.7ポイントとなっている。一方、「わからない」と答えた人が最も多いのは、20代で30.7%となっており、3割を占めている。

【性別・年代別】



IV 調査結果

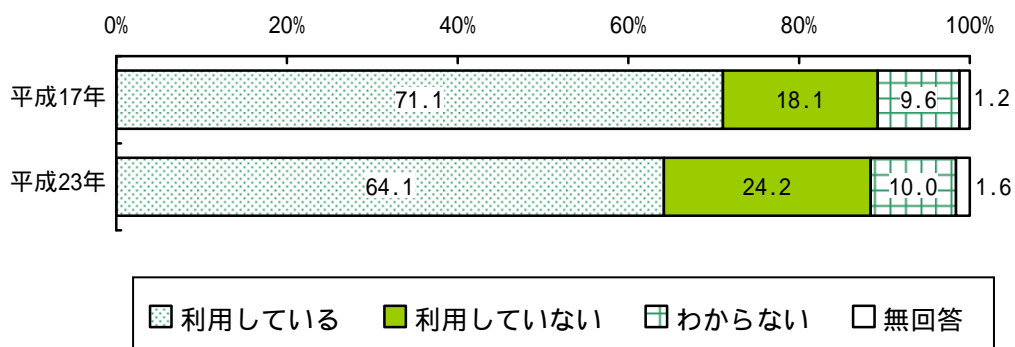
< 調査結果の経年比較 >

平成17年の調査結果と比較すると、「利用していない」は18.1%から24.2%と、6.1%増加している。一方、「利用している」は71.1%から64.1%と、7.0%減少している。

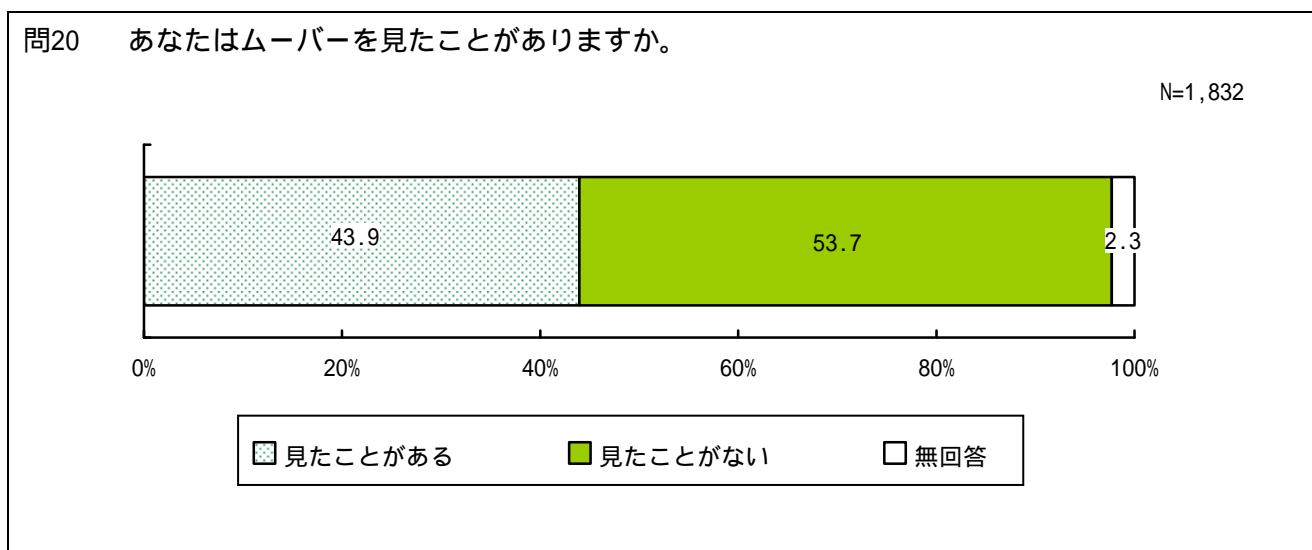
単位：%

調査年	調査数 (人)	利用している	利用していない	わからない	無回答
平成5年	1,984	46.1	51.7	-	2.2
11年	1,752	72.3	26.5	-	1.1
17年	1,622	71.1	18.1	9.6	1.2
23年	1,832	64.1	24.2	10.0	1.6

平成5年と11年は選択肢に「わからない」を含まない。



(5) 「ムーバー」の閲読状況

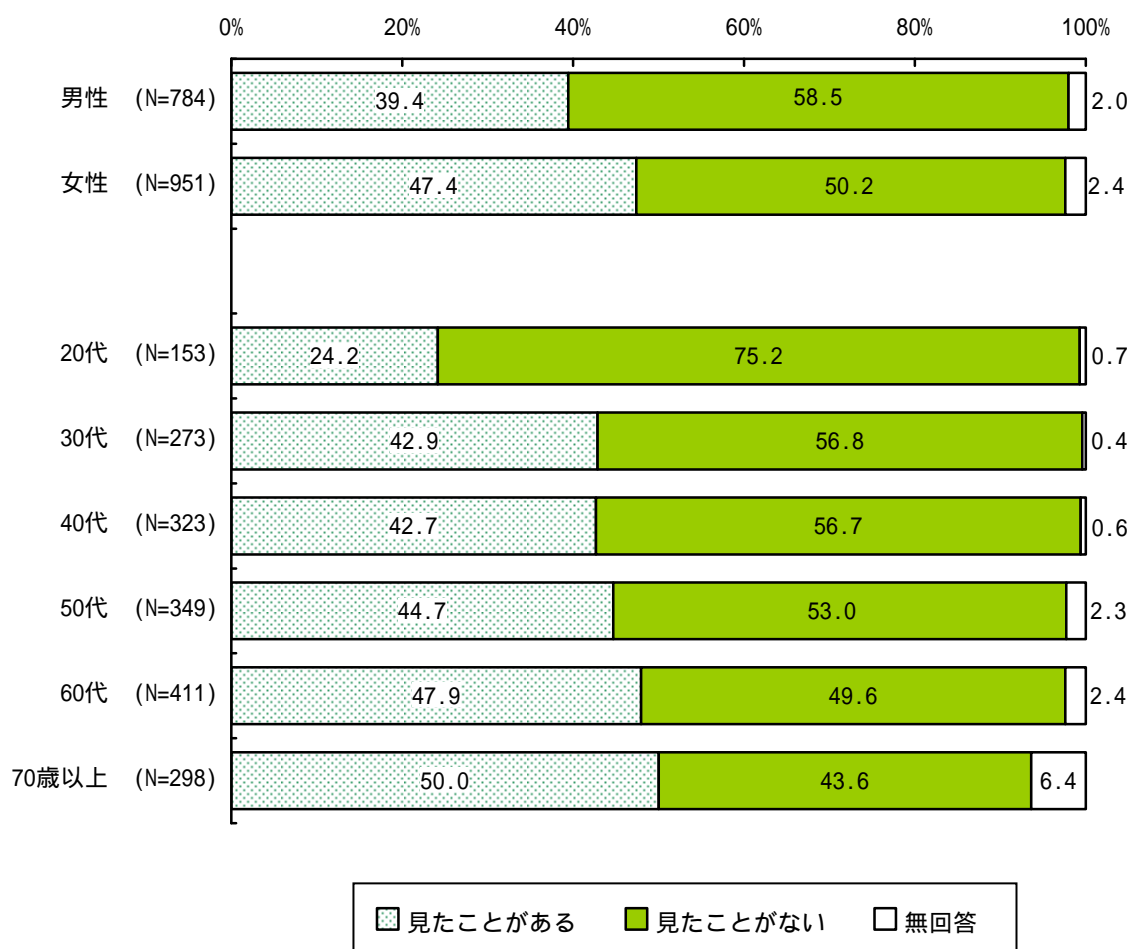


「ムーバー」を見たことがあるかを尋ねたところ、「見たことがある」と答えた人は43.9%となっており、「見たことがない」は53.7%と半数を超えている。

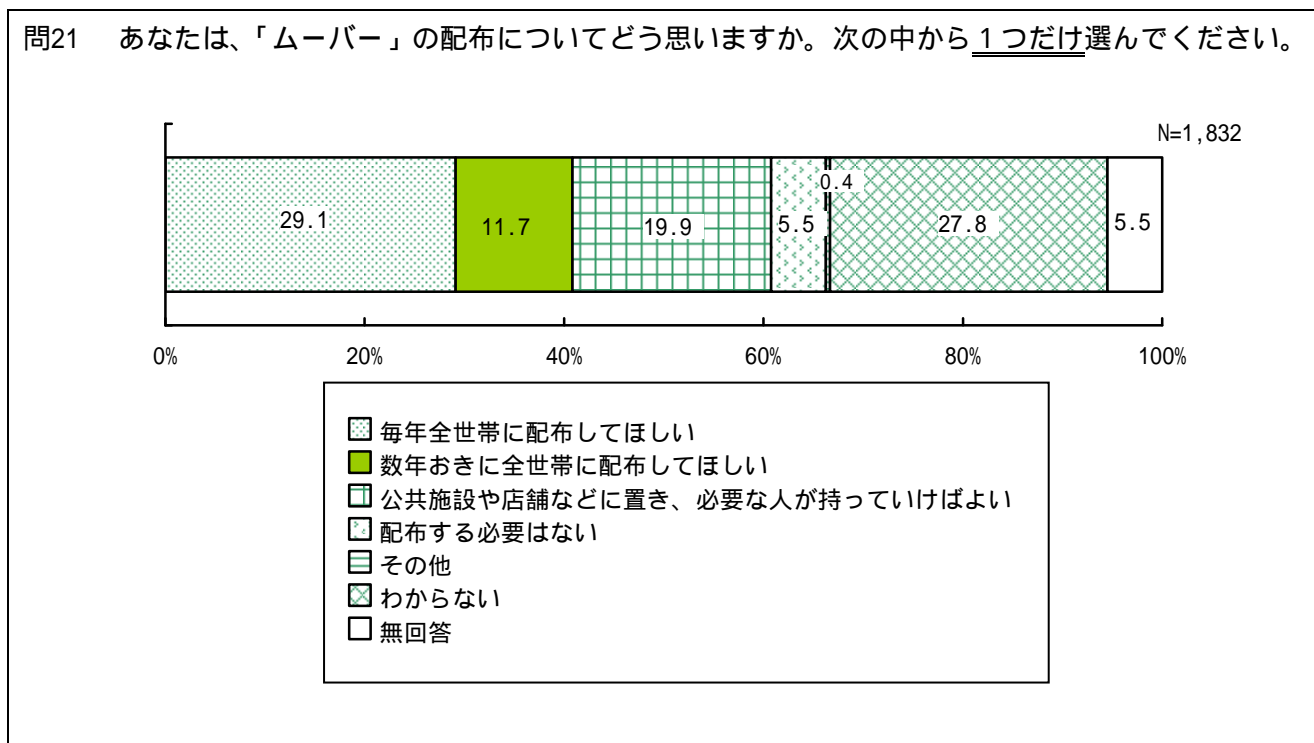
年代別に見ると、「見たことがある」と答えた人が最も多いのは、70歳以上で50.0%と半数となっている一方で、20代は24.2%と2割程度にとどまっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向が見られる。

「見たことがない」と答えた人が最も多いのは、20代で75.2%と7割以上を占めている。

【性別・年代別】



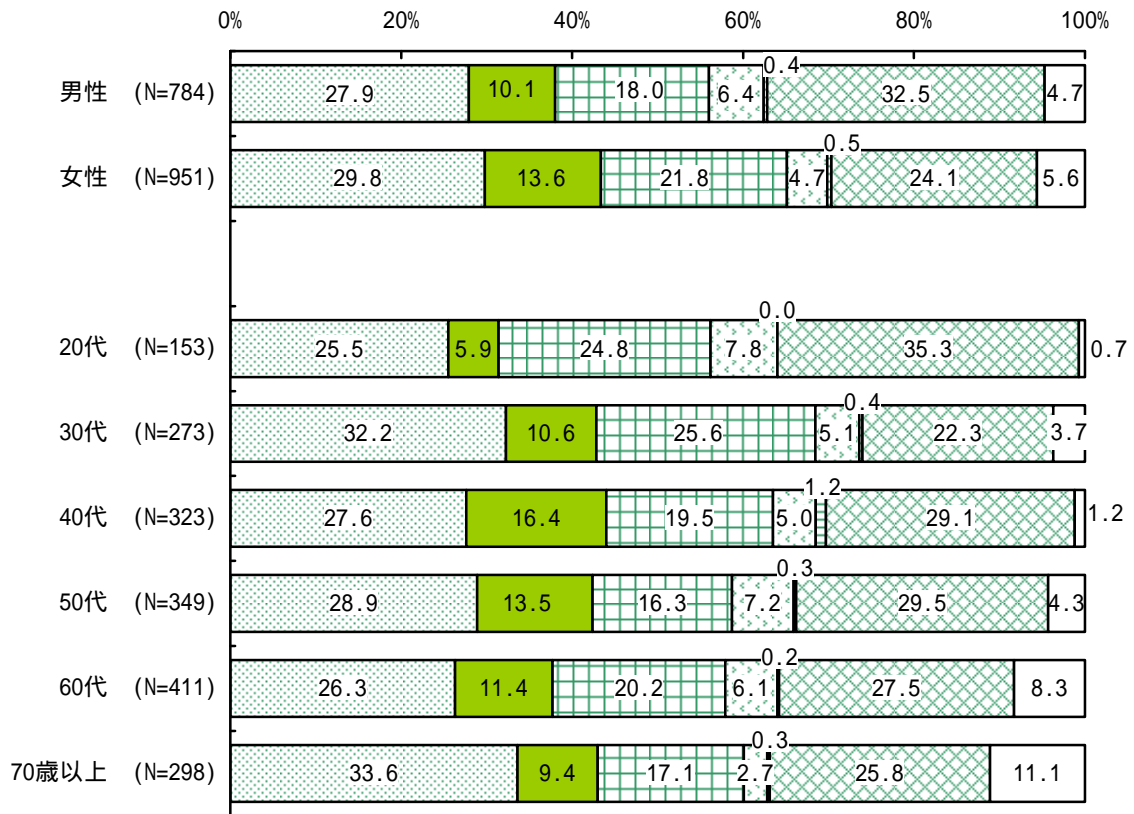
(6) 「ムーバー」の配布への意見



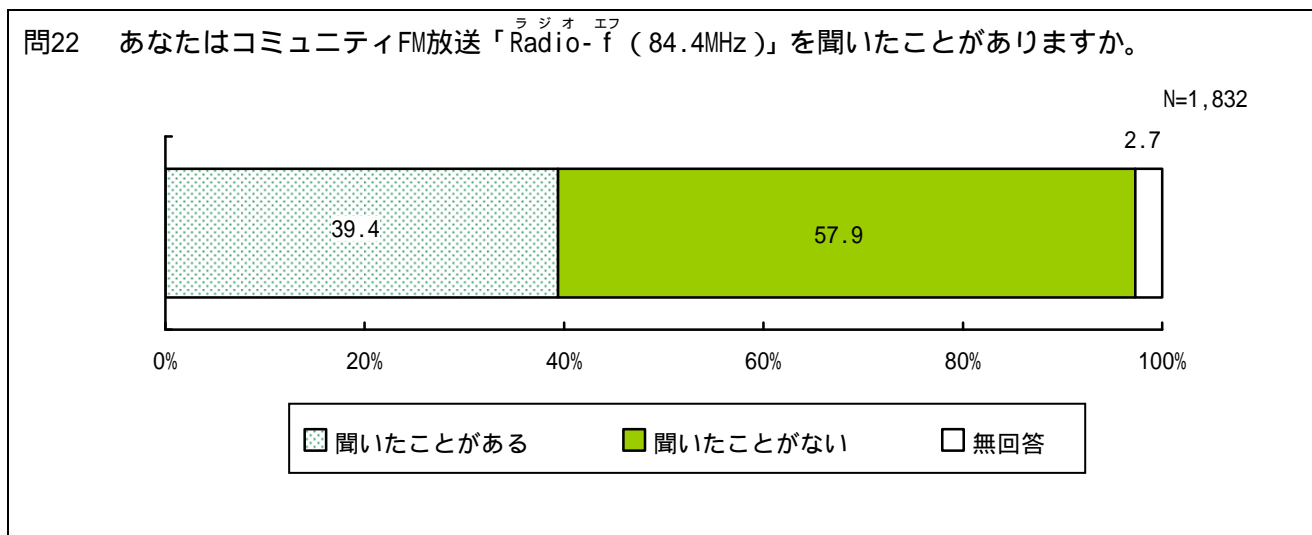
「ムーバー」の配布についてどう思うかを尋ねたところ、「毎年全世帯に配布してほしい」と答えた人が最も多く、29.1%となっている。次いで「わからない」が27.8%となっており、いずれも約3割となっている。

年代別に見ると、「毎年全世帯に配布してほしい」と答えた人は、30代で32.2%、70歳以上で33.6%となっており、他の年代に比べてやや高くなっている。

【性別・年代別】



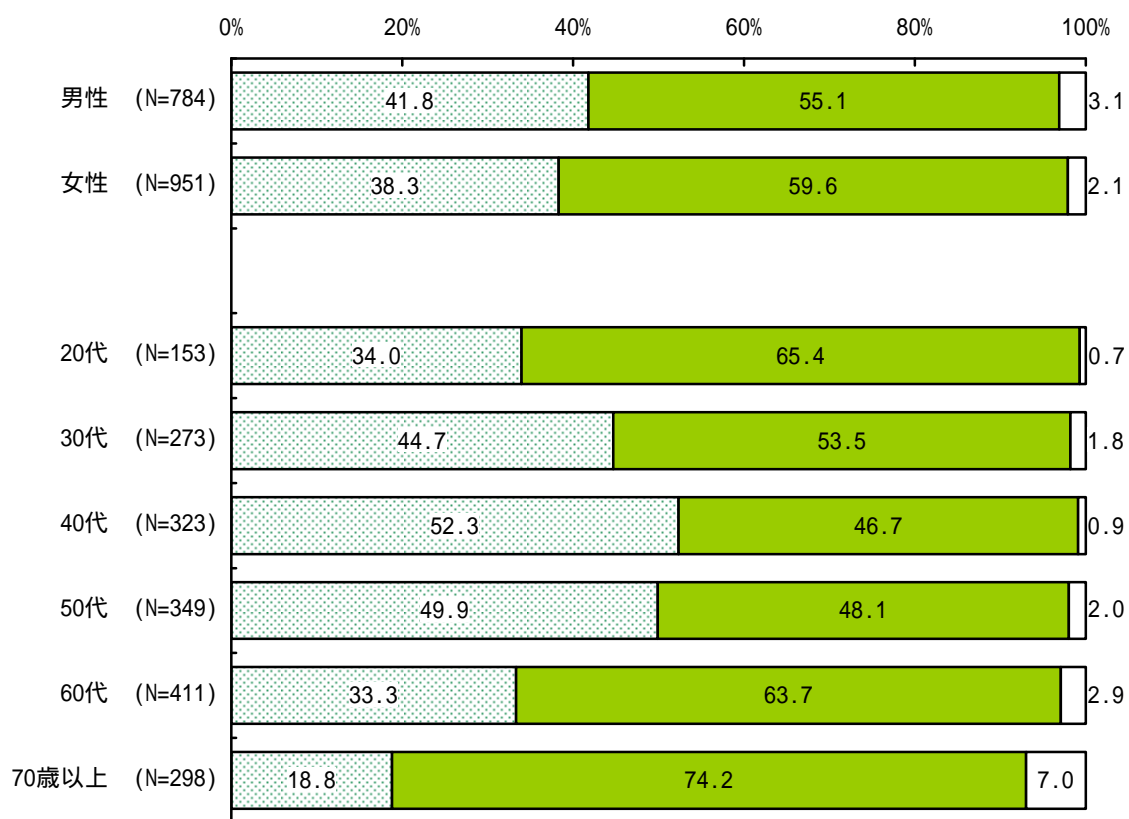
- 毎年全世帯に配布してほしい
- 数年おきに全世帯に配布してほしい
- 公共施設や店舗などに置き、必要な人が持っていけばよい
- 配布する必要はない
- その他
- わからない
- 無回答

(7) 「Radio-f^{ラジオエフ} (84.4MHz)」の聴取状況

「Radio-f^{ラジオエフ} (84.4MHz)」を聞いたことがあるかを尋ねたところ、「聞いたことがある」と答えた人は、39.4%となっており、「聞いたことがない」は57.9%で、半数を超えている。

年代別に見ると、「聞いたことがある」と答えた人が最も多いのは、40代で52.3%と約半数となっており、40代をピークに、50代からは低くなる傾向が見られ、70歳以上では18.8%と2割程度にとどまっている。

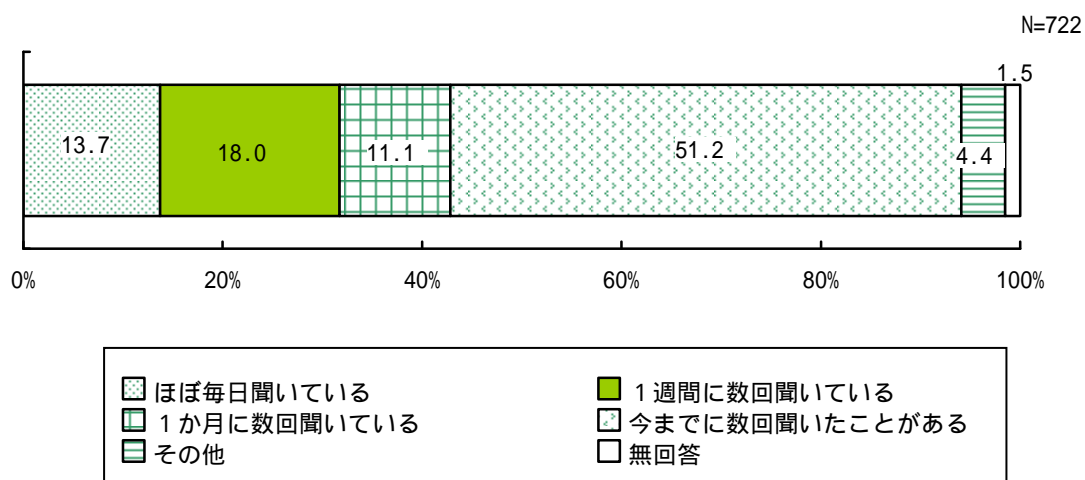
【性別・年代別】



聞いたことがある
 聞いたことがない
 無回答

(8) 「Radio-f^{ラジオエフ} (84.4MHz)」の聴取頻度

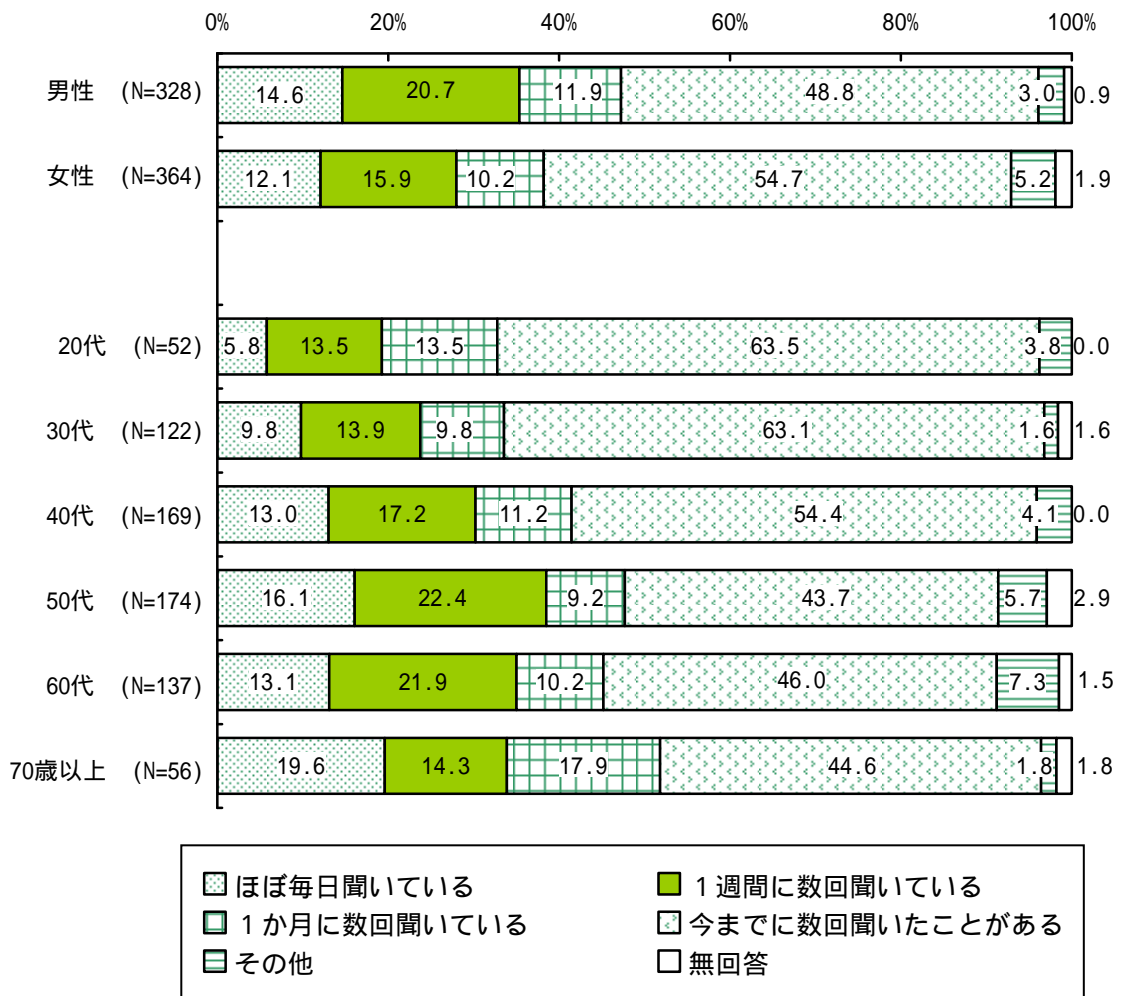
問22-1 どのくらいの頻度で聞いたことがありますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。

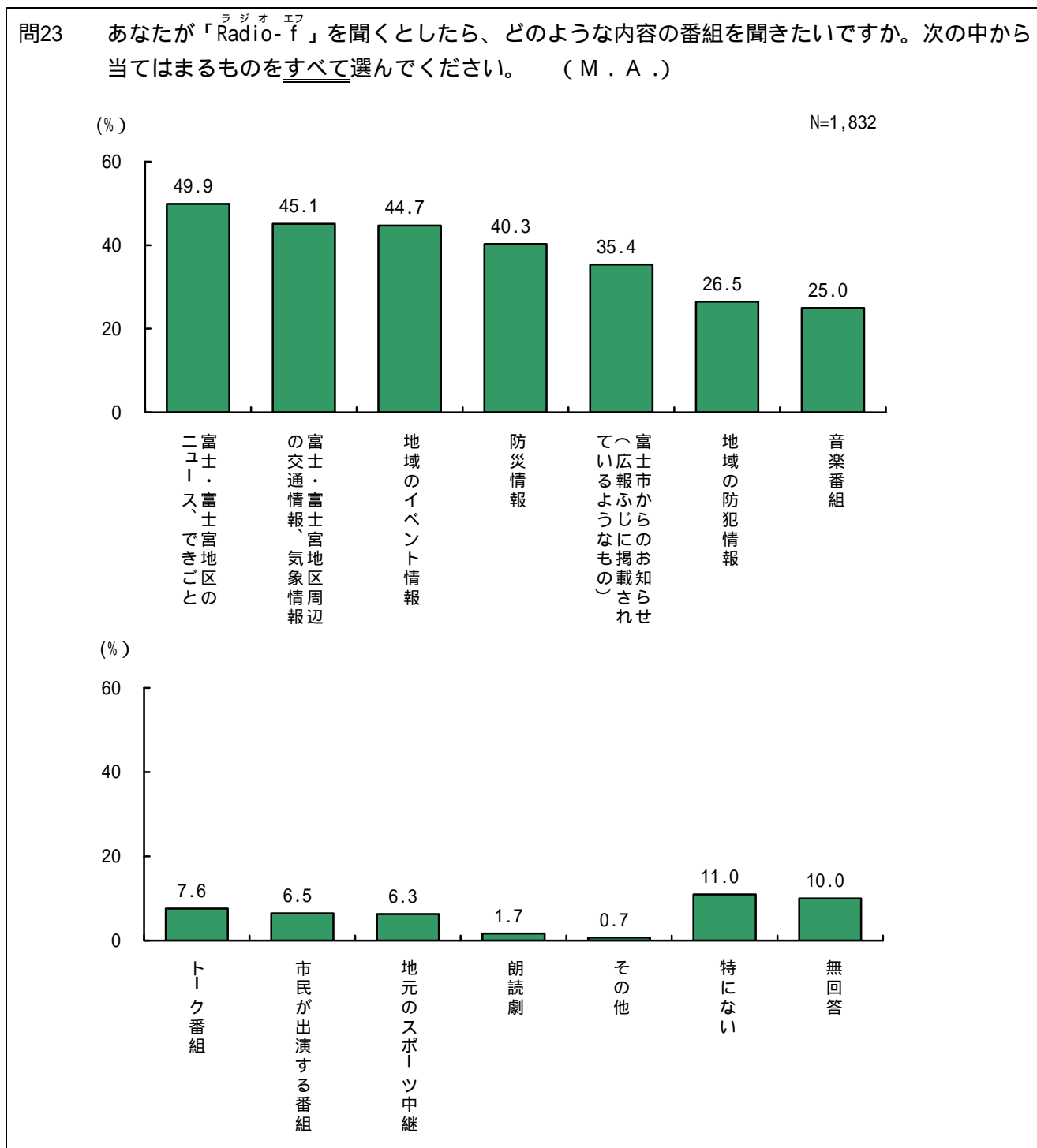


問22の質問で「聞いたことがある」と答えた人に、どのくらいの頻度で聞いたことがあるかを尋ねたところ、「今までに数回聞いたことがある」と答えた人が最も多く51.2%と半数を占めており、次いで「1週間に数回聞いている」が18.0%、「ほぼ毎日聞いている」が13.7%となっている。

年代別に見ると、すべての年代において「今までに数回聞いたことがある」と答えた人が最も多くなっており、20代で63.5%、30代で63.1%と6割以上を占めている。40代～70歳以上は約4割から5割となっている。

【性別・年代別】

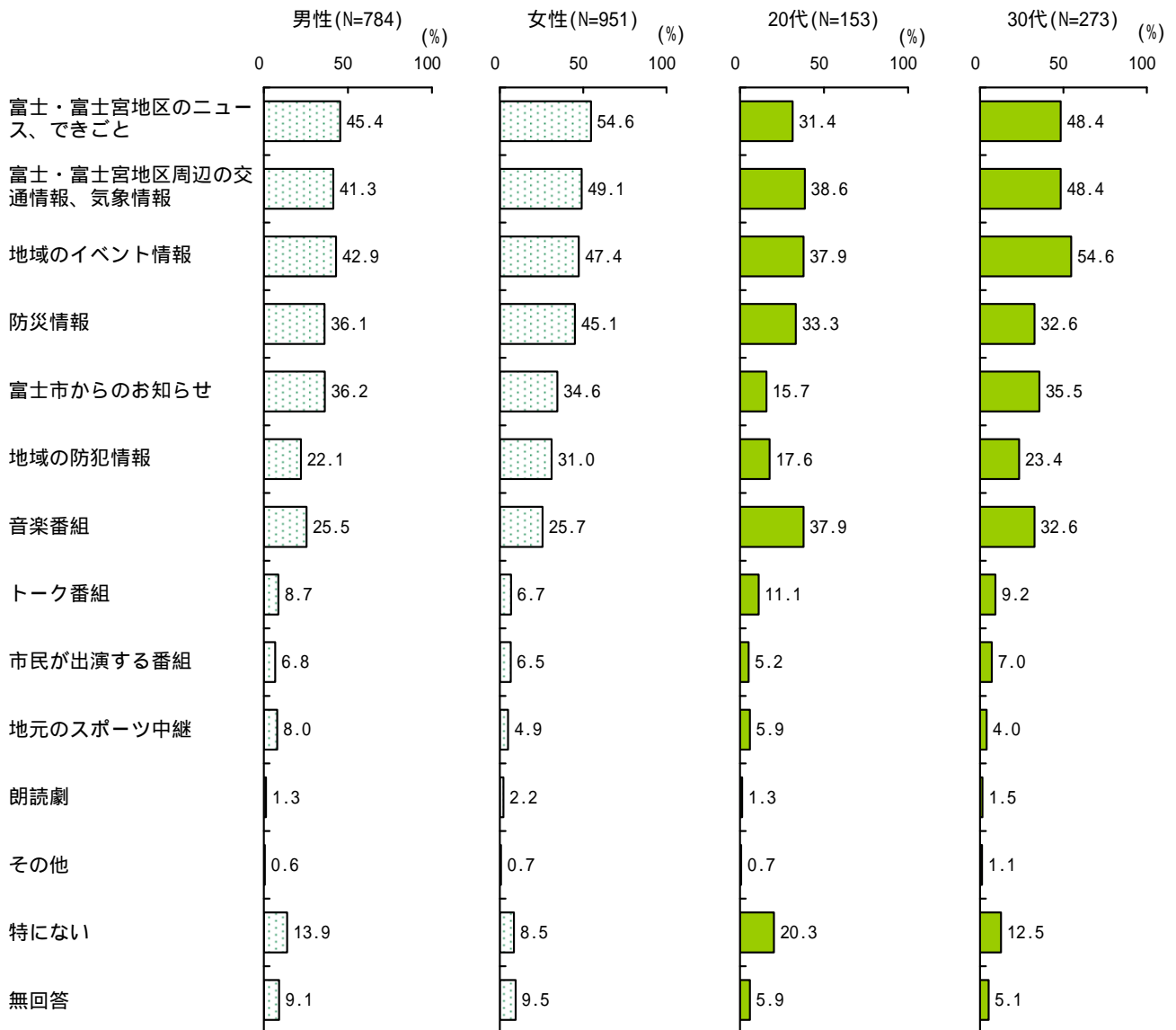


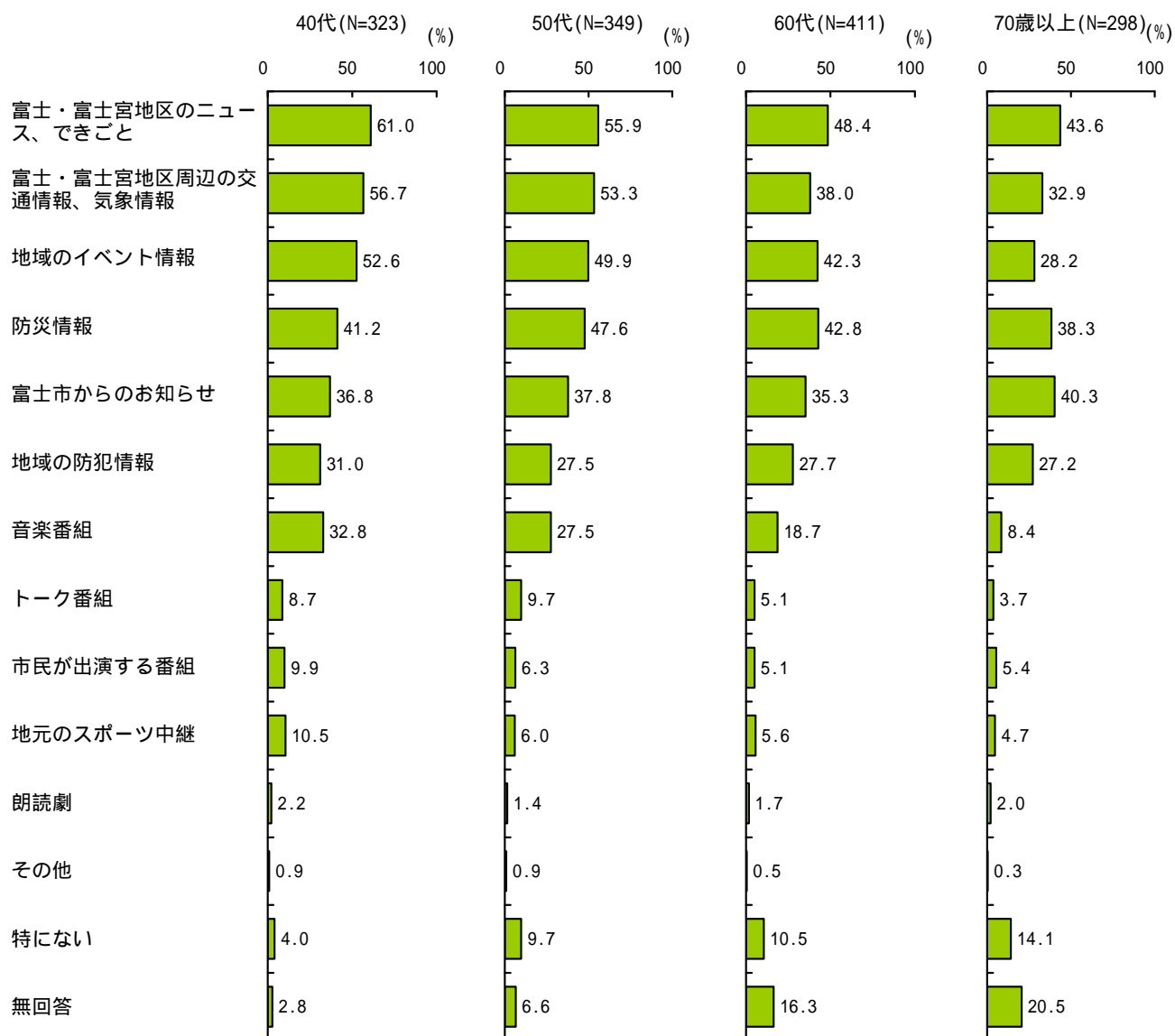
(9) 「Radio-f^{ラジオエフ} (84.4MHz)」で聞きたい番組内容

「Radio-f^{ラジオエフ} (84.4MHz)」を聞くとしたら、どのような内容の番組を聞きたいかを尋ねたところ、「富士・富士宮地区のニュース、できごと」と答えた人が最も多く、49.9%となっている。次いで「富士・富士宮地区周辺の交通情報、気象情報」が45.1%、「地域のイベント情報」が44.7%、「防災情報」が40.3%と、いずれも4割を占めている。

年代別に見ると、「富士・富士宮地区のニュース、できごと」と答えた人が最も多いのは、40代で61.0%と6割を占めており、40代までは高くなっているが、50代からは低くなる傾向が見られる。

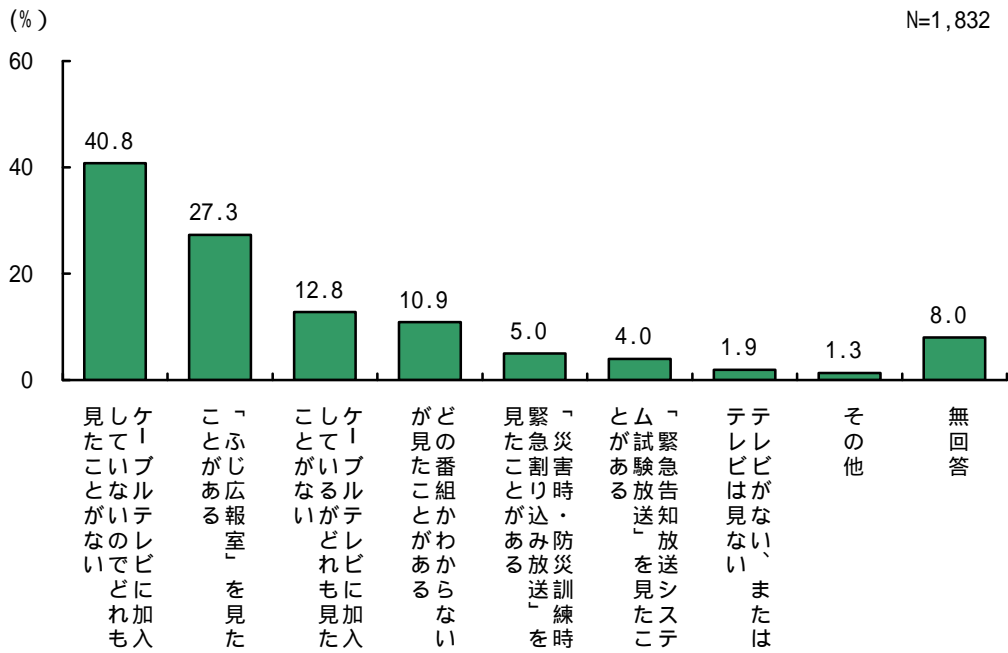
【性別・年代別】





(10) ケーブルテレビ放送の富士市独自番組の視聴状況

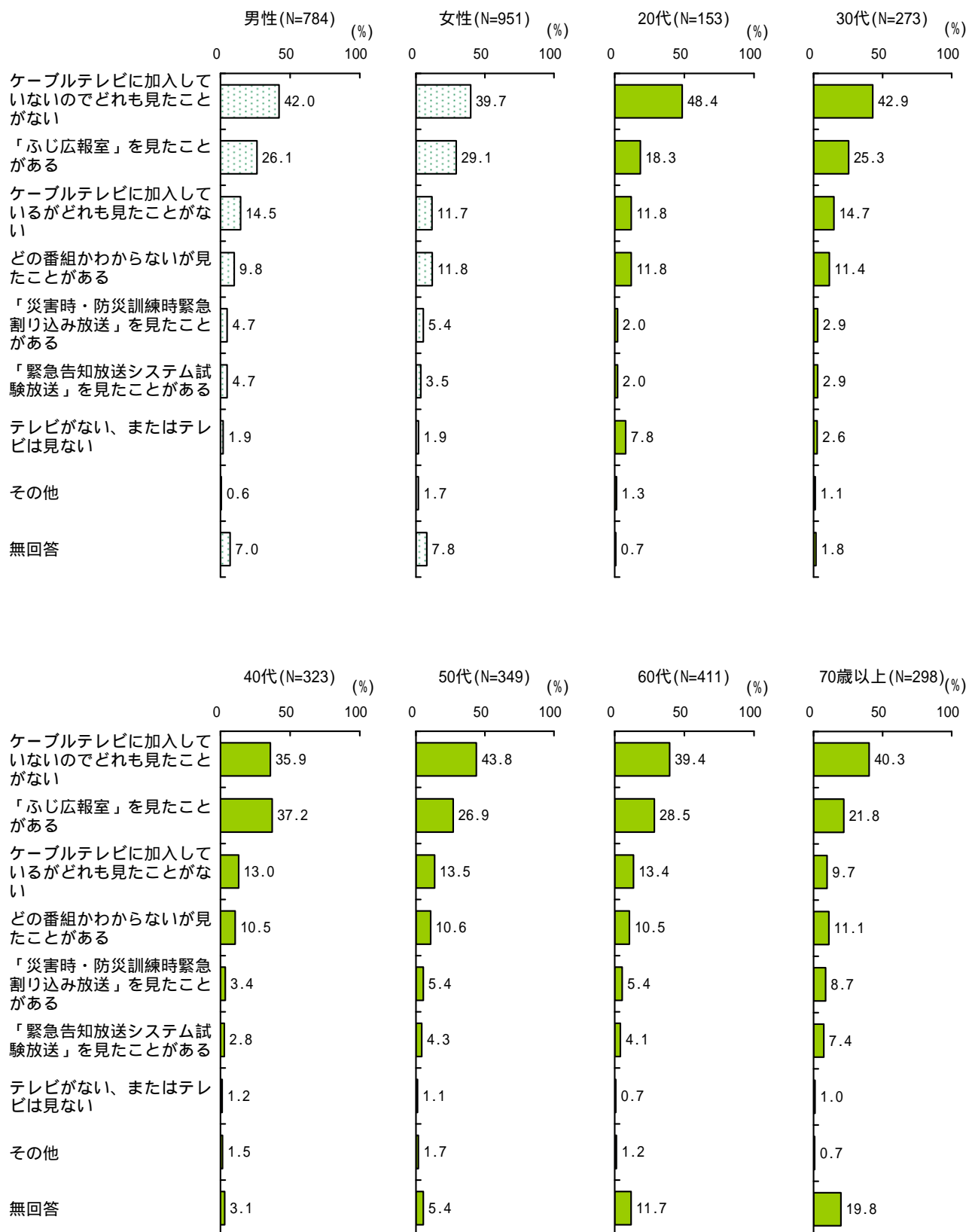
問24 あなたは、ケーブルテレビで放送している富士市独自の番組を見たことがありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。(M.A.)



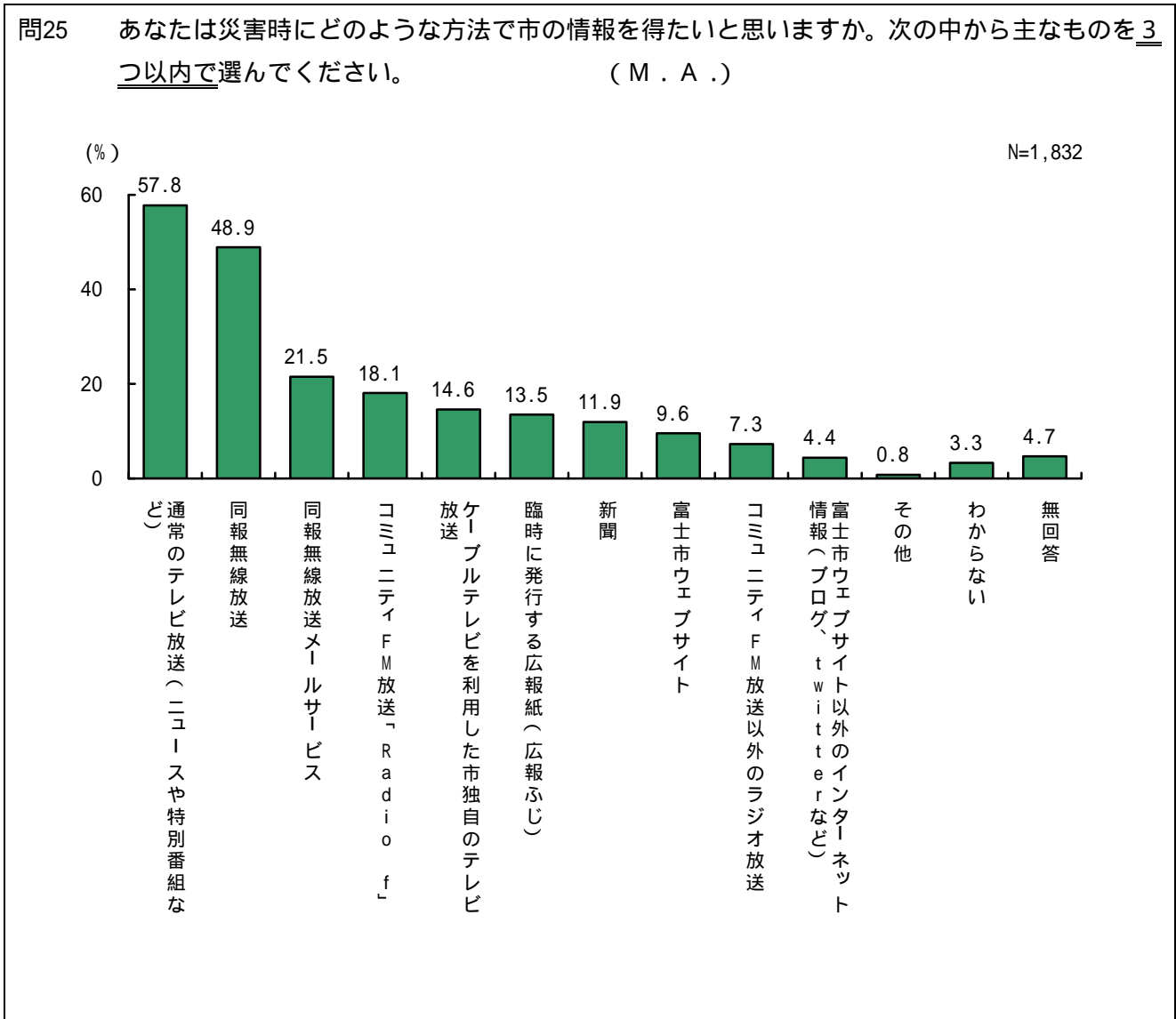
ケーブルテレビで放送している富士市独自の番組を見たことがあるかを尋ねたところ、「ケーブルテレビに加入していないのでどれも見なかった」と答えた人が最も多く、40.8%と4割を占めている。次いで「「ふじ広報室」を見たことがある」が27.3%、「ケーブルテレビに加入しているがどれも見ない」が12.8%となっている。

年代別に見ると、「「ふじ広報室」を見たことがある」と答えた人が最も多いのは、40代で37.2%と約4割となっており、他の年代と比べてやや高くなっている。

【性別・年代別】



(11) 災害時にどのような方法で市の情報を得たいか



災害時にどのような方法で市の情報を得たいかを尋ねたところ、「通常のテレビ放送（ニュースや特別番組など）」と答えた人が最も多く、57.8%となっている。次いで「同報無線放送」が48.9%、「同報無線放送メールサービス」が21.5%となっている。

年代別に見ると、すべての年代において「通常のテレビ放送（ニュースや特別番組など）」と答えた人が最も多く半数以上を占めており、特に70歳以上では67.8%と高くなっている。「同報無線放送メールサービス」と答えた人は、30代で33.7%、40代で34.4%と3割を占めている一方、60代では12.7%、70歳以上では6.4%と、1割程度にとどまっている。

【性別・年代別】

